

1 単元名 Lesson5 「I'm～」

2 単元について

本単元では、自分のことについて話したり、書いたり、相手のことを聞いて理解したりしながら、「I'm～」の表現に慣れ親しませ、コミュニケーション能力の基礎を培うことを目標としている。

児童は5年生に入り、百間中学校区で開発している英語科のテキストやワークシートをもとに、アルファベットの復習、like や play, eat, have, want の表現にふれてきた。そして本単元 Lesson 5 “I'm～.”では、これまでの学習内容をまとめ、自分のことについて、ある程度のコミュニケーションをとれることを目指している。

本単元で扱う“I'm～.”という be 動詞については、これまで音声では聞かせてきたが、文字を見せながら読んだり、書いたりすることは初めてである。一般動詞とは違うことに気付き、日本語でも動詞として認識しにくい「です」「ます」「ある」「いる」の動詞的存在を英語を通して学ぶこともねらっている。自分の名前を伝えたり、自分の出身を伝えたり、また所属するクラブ等を伝える表現として使わせることで慣れ親しませていき、自己紹介をする場を設定することで積極的にコミュニケーションをとろうとする態度も養っていくようにする。

また、writing の活動においては、音声を十分に聞かせた上で、音声と文字を一致させた活動となることを大事にしてきた。本単元でも、“I'm～.”“I'm from～.”“I live in～.”“I'm in the～.”等の表現を十分に聞かせたり、使わせたりした上で、ワークシートを使って音声と文字を一致させたい。さらに、教師の質問に答える活動へつなげることで、自分のこととして発話したり、文章を書いたりできるように工夫をしていく。さらに、単元の最後に選択学習を展開する。これは、単元を通して、児童がもっと学びたかったこと、興味や関心を持ったことを見つめさせ、自ら学びたいことを学んでいく学習時間である。自分の課題を見つけ、自ら学び、何かを得ることで、児童に学ぶことの楽しさや喜びを感じさせたい。それにより、児童に生涯を通じて自ら学んでいく姿勢と力を身に付けさせることをねらいとしている。

本単元は、児童のこれまでの学びがどうであったのかを図れる単元でもある。これまで教師がどれだけ英語を聞かせてくれたのか、児童の学ぶ姿から教師の指導の成果と課題を把握していきたい。また、英語科であっても、「音声を聞かせること」を大事にししながら、児童の実態を見極めながら、段階を追って英語学習が進めていけるよう心がけていきたい。

3 児童の実態

<省略>

本学級の児童は、1・2年生では月1時間、3・4年生では週1時間の外国語活動を行ってきた。5年生になってからは、週2時間の英語科の学習を行っている。英語に対する関心は高く、今までに蓄えられた音声や英語への慣れ親しみが、自然に会話の中に英語が出てきたり、Who am I?クイズを自分たちで作って楽しんだりする姿が見られる。また、ALTの話など初めて聞く会話にも抵抗なく、意欲的に聞き取ろうとする態度がみられる。アンケート結果からも、英語に対する関心が高いことが分かる。特に、「英語を使えるようになりたい」、「英語が大切だ」と感じている児童の割合は高い。児童にとって、外国は身近なものになりつつあり、また将来的にも自分にとって必要なものであると感じている児童が多いことが分かる。しかし一方で、友達の前で自分の考えを表現することが苦手であったり、Reading や Writing の活動が入ってきたことで、正確に答えたいなどの気持ちが強くなり、間違えを恐れて消極的になったりする児童もいる。

「聞くこと」を大切にしながら、児童が進んで取り組みたいと思える Reading や Writing の活動を取り入れていきたい。そして、自然に音声と文字をつなげていき、英語を楽しみながら学ぶことで、コミュニケーションを行う基礎を養っていきたい。

4 研究主題との関連

<省略>

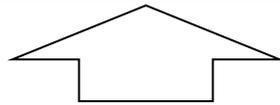
英語の音声や表現に主体的にかかわりながらことばへの気付きを楽しませるために、児童の興味・関心を引く活動場面を設定し、多くの英語を聞かせ、印象的な出会いをさせることで、十分に音声をたくわえさせたい。その上で、文字に出合わせ、その表現を視覚で捉えたときの気付きを楽しませたい。児童は、これまで音のかたまりとして慣れ親しんできたものを文字として実際に目にするすることで、文章が単語に分解され、語順や複数形、大文字・小文字の表記等、日本語との違いにたくさん気付く学習が行える。発見による喜びを味わわせ、英語学習による国語理解も深めていきたい。

本単元は、自分のことを相手に伝えるための表現“I’m～.”を学ぶ場面である。まずは、自分の名前や出身、住まい、所属するクラブなどを伝える言い方を知り、繰り返し使う中でその表現に慣れ、自己紹介をしてみたいという意欲を持たせたい。また、「Who am I?」クイズなどを入れながら、興味を持って“I’m～.”の表現に親しみ、音声のinputをしっかりと行っていき、ReadingやWritingの場面での文字との出会いがスムーズに行えるようになっていく。さらに、これまで習ってきた“I like～.”や“I have～.”などの表現と組み合わせ、自分についての簡単な表現ができるようにさせていきたい。

【学びをつなぐ教育の視点から】

英語科 Lesson5 “I’m～.”

- ・自分のことを積極的に伝えようとするコミュニケーションへの意欲
- ・自分のことを話したり、書いたりする表現の能力
- ・相手のことを聞いたり、読んだりする理解の能力
- ・英語の音声や表現を通しての言語や文化についての気付き



英語学習 4月からの英語らしい音声を大事にし、文字学習につなげ、定着させる学習

英語科学習

Lesson0 アルファベットの復習

Lesson1 I like～. I play～.

Lesson2 I like～. I eat～.

Lesson3 I like～. I have～.

Lesson4 I like～. I want～.

外国語活動

2年間の英語らしい音声への慣れ親しみ・音声のたくわえ

Hi, friends1

Lesson1 Hello

Lesson2 I’m happy.

Lesson4 I like apples.

Lesson5 What do you like?

Lesson6 What do you want?

Lesson8 I study Japanese.

Hi, friends2

Lesson1 Do you have“a”?

Lesson3 I can swim.

Lesson5 Let’s go to Italy.

Lesson6 What time do you get up?

Lesson8 What do you want to be?

学級活動（1）

信頼し、支え合って楽しく豊かな生活を作る。

道徳2－（3）

互いを信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し合う。

国語科 ことばの学び 日本語の音声・ことばのつくり・文法・ローマ字 等

これまでの生活での学び 母国語の習得・生活経験・体験

5 単元のねらいと評価の計画

(1) 単元のねらい

- ・積極的に言語活動を行い、自分のことについて話し、相手のことを聞いてコミュニケーションを図ろうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・“I’m ~.”の表現で話したり書いたりして、自分のことについて表現することができる。 【外国語表現の能力】
- ・“I’m ~.”の表現の会話を聞いたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。 【外国語理解の能力】
- ・日本語と英語の単語や文章の表記の違いがわかる。 【言語や文化についての知識・理解】

(2) 評価の計画 (6時間扱い)

(◎:本時で重点的に行う評価 ○:単元を通して可能な限り見取り積み重ねていく評価)

時間	ねらい	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語文化についての知識・理解
1	◎友達や教師が自分の名前を紹介している話を聞き、内容を理解する。 ◎本文を読むことができる。 ○自分の名前を表現する文章から、文の構造について様々なことに気付く。			◎	○
2 本時	◎出身地を紹介する話を聞き、内容を理解する。 ◎本文を読むことができる。 ○(自分の)出身地について話したり、書いたりして、表現できる。		○	◎	
3	◎住んでいる場所を紹介する話を聞き、内容を理解する。 ◎本文を読むことができる。 ○(自分の)住んでいる場所について話したり、書いたりして、表現できる。		○	◎	
4	◎クラブを紹介する話を聞き、内容を理解する。 ◎本文を読むことができる。 ○(自分の)クラブについて話したり、書いたりして、表現できる。		○	◎	
5	◎積極的に自分のことについて表現しようとしている。 ◎自分のことについて話したり、書いたりできる。	◎	◎		

6	○L5のまとめをする。 ○自分の興味・関心に応じて選択学習を行う。	○	○	○	○
---	--------------------------------------	---	---	---	---

6 指導の計画

時間	1	2 (本時)	3	4	5	6
学習過程	活動例					
ウォームアップ・	あいさつ					
	Sit Down Game 「あなたの名前は？」	Sit Down Game 「家族の名前は？」	Sit Down Game 「どこに住んでいる？」	Sit Down Game 「所属したことのあ るクラブ は？」	Sit Down Game 「お気に入り の人物・尊 敬する人物 の名前は？」	
	Song 「Row,Row,Row Your Boat」					
レッスン・チャレンジ	Main-1 「I'm～」 「今の心境は？」	Main-1 Who am I? クイズ	Main-1 「私は～です。」 自分のことを一つ伝える	Main-1 Who am I? クイズ	Main-1 Reading Lesson5-1.2	選択学習 12×3 Listening DVDを観る。 (興味ある話) Speaking・ Singing CDを歌ったり、聞いたりする。 Speaking・ Listening ALT・JTEと 会話する。 Writing プリントで学習する。 Writing パソコンに文字を打つ。
	Main-2 Who am I? クイズ		Main-2 「今どこに住んでいるゲーム」	Main-2 「私は～です。」 自分のことを一つ伝える	Main-2 Talking 「自分のことを話そう」 (グループで)	
	Main-3 Reading Lesson5-1	Main-2 Reading Lesson5-1	Main-3 Reading Lesson5-1	Main-3 Reading Lesson5-2	Main-3 Talking 「自分のことを話そう」 (相手を探して)	
	Main-4 Writing 自分の名前を表す文章をなぞる	Main-3 Writing 自分の出身地を表す文章をなぞる	Main-4 Writing 自分の住まいを表す文章をなぞる	Reading Writing 自分の所属するクラブを表す文章をなぞる		
	文字遊び(アルファベットに慣れる活動) カードとり・WORD BOOKを使って・文字に注目して					
トップ・	振り返り・アルファベットの聞き取り					
	あいさつ					
表現例	Hello! I'm Nancy. I'm from the U.S. I live in Honden-cho. I like cooking. Nice to meet you.	I'm Aoi Kobayashi. I like cooking,too. I'm in the cooking club. I can make pancakes. Let's cook together.	I'm ~. I live in~.	I'm~. I'm in the~. I live in ~.	I'm~. I'm in the~. I like~. I play~. I eat~. I have~. I want~. I live in~.	I'm~. I'm in the~. I like~. I play~. I eat~. I have~. I want~. I live in~.

語彙例	スポーツ・クラブ: tennis, soccer, baseball, basketball, volleyball, badminton, table tennis, ice hockey, gymnastics, judo, kendo, ice-skating, track and field, horse riding, etc. 食べ物: spaghetti, pizza, hamburger steak, sushi, cake, pudding, ice-cream, juice, etc. 動物: pandas, cats, dogs, bears, rabbits, koalas, birds, fishes, pigs, insects, etc. 教科 Japanese, social studies, math, science, music, arts and crafts, P.E., home economics, English, etc. 月: January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December クラブ: baton twirling, science, arts, home economics, drum, sports, soccer, dance, basketball, table tennis, track and field,
-----	---

7 本時のねらい

- ◎出身地を紹介する話を聞き、内容を理解することができる。 【外国語理解の能力】
- ◎本文を読むことができる。 【外国語理解の能力】
- （自分の）出身地について話したり、書いたりして、表現することができる。 【外国語の表現の能力】

8 授業改善の視点

“I’m ~.” “I’m from ~.”の表現に慣れ親しませるために、これまでも繰り返し行ってきた「Who am I?」クイズの中で、“I’m ~.” “I’m from ~.”等を使って、クイズにすることで、「聞く」活動を大切にしながら、児童が興味関心を持って聞けるようにしていきたい。また、テキストを使って読ませる活動において、本文をたくさん聞かせ、見させる活動を様々な方法で工夫しながら行っていく。児童に十分に聞かせたうえで、テキストの会話文を例文としながら、自分のことに言いかえて表現させることで、スムーズに Talking の活動につなげていきたい。また、Writing の活動においても、ワークシートを活用して、自分とのかかわりを考えながら興味を持って聞き、自分のこととして書く活動を行っていく。さらに、書いたものを使って教師の質問に答えることで、発話と文字・文章の一致や意味理解をつなげていけるようにする。

9 本時の展開（第2時／6時間）

活動内容	児童の活動	チームティーチング		○指導上の留意点 ◎教材・教具 ◆評価規準と評価方法
		担任の活動	ALT の活動	
1 あいさつ 1分	ALT: “Hello, everyone. How are you?” 児童: “I’m fine, thank you. And you?” ALT: “I’m fine, too, thank you.” 担任: “Let’s start today’s English lesson.”			
2 Sit Down Game 「家族の名前は？」 8分	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の中から一人の名前を紹介した児童から座る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の名前を尋ね、家族の中の一人の名前を紹介した児童から座らせる。 ・周りの児童に、同じ名前の家族がいるかを尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の中の一人の名前を紹介させ、座らせる。 ・担任と分担し、交互に尋ねていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の家族を例示し、名前を伝えることで、児童が理解しやすいようにする。 ○家族の英語での名称を繰り返し、何度も聞かせる。 ○児童との会話を大切にする。

		<p>“What is your family’s name?” “Your brother’s name is Taro.” “OK! Please sit down.”</p>		<p>○サザエさんの家系図を提示し確認し、家族の名称を聞かせるようにする。 ◎サザエさんの家系図</p>
<p>3 Song 「Row,Row,Row Your Boat」 6分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく英語の歌を歌う。 ・ALT の歌に合わせて歌える部分を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れたことばを挙げさせていく。 ・絵やジェスチャーなどで、歌の大体の意味が分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とともに楽しく歌う。 	<p>○絵を提示して歌詞の意味が何となくわかるようにしていく。 ○英語らしい音の流れを楽しませるようにする。</p>
<p>4 Main-1 「Who am I? クイズ」 この人は誰? 8分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の言ったヒントから誰かを考え、当てていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを言い、誰かを当てさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任と分担し、ヒントを言い、誰かを当てさせていく。 	<p>○クイズにすることで、I’m ～.の表現を繰り返し聞かせるようにする。 ○I’m from ～.の表現を繰り返し聞かせることで、聞き慣れさせる。 ◎絵・イラスト ◆I’m ～.I’m from ～.の使い方に気付き、理解することができる。 【理解の能力】 (行動観察)</p>
<p>5 Main-2 Reading Lesson5-1 12分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と教師の Reading を聞く。 ・ALT が読んだ文章を指でなぞる。 ・教師と一緒に読む。 ・役割を交代しながら、読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れた英語を答えさせる。 ・児童が聞き取った英語を板書する。 ・テキストの会話を役割分担して読み上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを読み、英語らしい発音を児童に聞かせる。 ・テキストの会話を役割分担して読み上げる。 	<p>○ALT の英語らしい発音を何度も聞かせる。 ◆本文を読むことができる。 【理解の能力】 (行動観察) ◎テキスト</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの文をもとにして、自分のこととして話す。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>“Hello! I’ m Nancy. I’ m from the U.S. I live in Honden-cho. I like cooking. Nice to meet you.”</p> </div>		
<p>6 Main-3 「自分の出身地を伝えよう」 6分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の出身地をなぞる。 ・尋ねられたら、自分の出身地を答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の出身地をなぞらせる。 ・書けた児童から、出身地を尋ねていき、書けているか、答えることができるか確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書けた児童から、出身地を尋ねていき、書けているか、答えることができるか確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○出身地を確認してから、書く活動に入る。 ◎ワークシート ◆自分の出身地を I’ m from～.を使って表現できる。 【表現の能力】 (行動観察)
<p>7 振り返り 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードで今日の活動を自己評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたこと、できるようになってきたことを中心に自己評価させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを担任と分担して配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次時の意欲につながるように、具体的に児童のよかった点を評価する。 ◎振り返りカード
<p>8 あいさつ 1分</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>担任： “That’s all for today’s lesson!” 児童： “Thank you, Ms.○○.” ALT： “Thank you,too.” 児童： “Thank you, Ms.○○.” 担任： “Thank you,too” ALT： “See you next time.” 児童： “See you.”</p> </div>			